

日本文化財科学会 40 周年記念 公開講演会のご案内

趣旨：日本文化財科学会は東アジア文化遺産保存学会と共催して『2023 東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 札幌』の中で、市民を対象とした公開講演会を開催いたします。私達はこれまで東アジアの文化財を守るために各国の研究者と研究交流を重ね、研究成果を世界に向けて発信してきました。今回は、国際的な SDGs の高まりの中で『維持可能な社会の実現に向けた文化遺産の保存と活用の推進』をテーマに、各国における文化遺産の保存と活用の実例を分かり易く日本語で講演していただきます。

参加費無料ですので、ふるってご参加ください。

主催：日本文化財科学会・東アジア文化遺産保存学会

会場：北海道大学学術交流会館（札幌市北区北 8 条西 5 丁目 88-1）

日時：2023 年 8 月 13 日 13：00～16：30

なお、専門家を対象にした国際シンポジウムを 8 月 10 日から 13 日に開催いたします。
詳しくは下記をご覧ください

<https://www.kuba.co.jp/iscchea2023/index.html>

【公開講演会の日程】

日程：12：00～ 開場・受付（入場無料）

13：00～14：10 開会挨拶 今津節生（奈良大学長）

13：10～14：10 杜 暁帆（中国 復旦大学 教授）

中国における農村の文化的景観

中国农村的文化景观

The Cultural Landscape of Rural China

14：10～15：10 姜 大一（韓国 伝統文化大学校 前教授）

焼損した韓国国宝第 1 号の崇礼門の復旧とその後

불탄 송례문의 복구, 그 이후

Restoration of Burnt out Sungnyemun Gate, After that

15：10～15：20 休憩

15：20～16：20 阿部千春（北海道環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室）

ユネスコ世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」について

～北海道の構成資産を中心として～

Stories of the UNESCO World Heritage "Jomon Archaeological Sites in Northern Japan" - Focusing on Sites in Hokkaido

16：20～16：30 閉会挨拶 高妻洋成（（独）国立文化財機構 文化財防災センター長）